

**平成30年度（上期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課： 健康福祉 部 地域福祉 室 地域・高年福祉 課

1. 基本情報

701

施設名	伊丹市立サンシティホール		
施設の設置目的	高齢者をはじめとする市民の文化、教養並びに福祉の向上を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： 支え合いの心でつくる安全・安心のまち 施策目標： 支え合いを基調とした地域福祉 主要施策： 元気、生きがい、安心の高齢者福祉		
指定管理者の名称	伊丹市シルバー人材センター (団体の住所又は所在地) 伊丹市昆陽池2丁目13		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	公募	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数 (単位： 人)	
	指標の意味	年間の施設来館者数	
	今年度の目標値	230,000	上期の実績値 108,339

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H26	H27	H28	H29	H30(上期)	H30(通期)
	来館者数 (人)		204,367	227,184	218,810	221,190	207,921	108,339
貸し室稼働率 (%)		40	66	63	62	60	55	
講座開催回数 (回)		309	490	502	438	436	209	
講座参加者数 (人)		6,773	9,863	10,444	10,074	10,490	5,492	

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

		区分	平成28年度(2016)	平成29年度(2017)	平成30年度(2018)計画	平成30年度(2018)実績(上期)
収入		使用料収入	0	0	0	0
		事業収入	3,241	3,651	3,600	2,494
		その他	213	196	251	102
		指定管理委託料	54,511	54,563	51,806	25,902
		①合計	57,965	58,410	55,657	28,498
支出	維持管理	光熱水費	13,169	10,978	11,000	4,777
		清掃等委託料	17,370	17,519	17,200	7,835
		土地建物賃料	0	0	0	0
		修繕料	1,246	2,612	1,286	692
	運営	人件費	17,319	17,089	17,150	8,530
		事業等経費	6,556	6,363	6,588	3,212
		その他	2,356	2,983	2,433	1,304
	指定管理納付金	0	0	0	0	
	②合計	58,016	57,544	55,657	26,350	
純収支(①-②)			△ 51	866	0	2,148

施設の管理運営に係る実質経費(市の負担)※ <単位:千円>		H25	H26	H27	H28	H29	H30(上期)
	市の収入		343	1,178	1,233	1,295	1,179
(内、使用料収入)		343	355	407	466	480	237
市の支出		54,075	58,058	66,098	64,095	57,674	25,902
(内、指定管理委託料)		51,140	53,205	54,539	54,511	54,563	25,902
実質経費(歳出-歳入)		53,732	56,880	64,865	62,800	56,495	25,665

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	A	ホール内外の美化、緑化、清掃状況は、利用者に常に高評価を得ており、今後も高い水準の環境美化に努めていく。	A	施設の維持管理などについて、指定管理者と連携をとりながら施設の状況把握および修繕対応を行い、利用者に支障をきたさない様努めていた。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B			
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B			
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B			
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B			
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	A	職員の配置は、日々の事業に合わせ必要人員を確保している。防火管理者についても適切に配置している。	B	適正な職員配置を行った。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B			
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	A			
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	避難訓練を兼ね、消防訓練を年2回実施しており職員並びに利用者の防災意識を高めている。	B	緊急時の連絡体制整備に努めていた。
		避難訓練を実施しているか。	B			
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	利用者の安全安心を最優先に、楽しく利用いただけるよう創意工夫を凝らし、丁寧な対応で運営していくよう努めている。	B	台風21号の際は、当施設を避難所として開設できるよう尽力した。サービス向上の取組として、ご意見箱を設置し、施設利用者の意見を積極的に取り入れている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B			
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B			
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B			
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	魅力的な事業の展開とマンネリ化防止に努め、利用者に満足いただけるよう心がけている。	B	利用者に満足してもらえるような事業計画の実施に努めた。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A			
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	個人情報が含まれた資料は、適切に保管格納している。また、HPを活用し事業の情報提供を行っている。	B	ホームページでの周知や各施設へチラシの配布により積極的に事業PRを行っている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B			
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A			
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	経理処理及び収支計画については、管理者によって厳格にチェックされており適切に処理している。	B	適正に実施している。
経理処理は、適切に行っているか。		B				

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	
総合評価	台風21号の際は、利用者に危害が及ばないよう迅速に対応し、安全管理に配慮した運営に努めていた。
B	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「A」＝良好である又は成果があった。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成30年8月1日～平成30年8月31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	①施設内の清掃は行き届き清潔に保たれていますか→「はい」98.3% ②職員の接客態度はいかがですか→「大変良い」29.1%「良い」65.8%	①現評価に満足することなく、より高いレベルでのサービスを目指す。 ②「明るく」「親切」「丁寧」をモットーに、利用者の満足度を高めていく。
回答者数		
117		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
平成30年2月、老朽化により全部屋のカーテンを更新したが、市民の方より「講座室1にてプロジェクターによる映写をするにはカーテン色が明るすぎて映像が見づらい。以前の物に戻して欲しい。」との要望が有り、市より指摘があった。	市民の方から指摘のあった講座室1のみ、以前設置していた状態の良いカーテンを選び、元に戻した。